

毎週金曜日

夜七時より

市民館三階

釜ヶ崎夜間学校

みんなで作ろう

みんなの会館

# 三人よれば何とかの知恵

# 夜間学校 ニュース

ニュースを読んだら、ポケットからコインをへら

## サギまでやる職安

モはや 業務でなく 個人的な シュミニア?

職安も少しザリすぎではないか、と言わざるをえない話を聞いた。

仲間が飯場に行ってきた。またま屋根の下での仕事だったので、ともかく、ビツチリ働いて帰ってきた。

そして、手帳を職安に出すと、16番窓口で二、三か中へ入れられて、ちよっこ二、三枚たないナリをした職員に、「ワシも仕事に行ってきたこと

がある。十四日も続けて出るハズがない。二、三枚余分に取ってもらったんちがうか。と聞かれたという。

さらに、写真カードに押してある職安の凸凹の切金、金庫屋が付けるシルシだ、なところナマを付けてきたという。

二枚はもう業務の域をこえて、個人で責任をこる覚悟があつたこと

## 仲間の死

① 本籍・住所不詳、氏名自稱高藤武雄、年齢66歳の男、身長155センチ、ヤセ型、着衣紺色作業服上下、遺留金品現金780円、財布、ラジオ、メガネ

右の者は、昭和61年3月24日午後3時ごろ大阪市西成区萩之茶屋スー1818簡宿ホテルサンス階24号室にて発見されたもので、同日午後1時ごろ同所において死亡したものと認められる。(死因検査中)

在日朝鮮人・韓国人の指紋押なつ拒否断固支持！

定住外国人に市民権を

② 本籍・住所不詳、氏名自稱山田某、年齢40歳の男、身長170センチ、体格普通、遺留金品現金1369円

右の者は、昭和61年2月13日午前10時ごろ、大阪市西成区太子1-1スー13簡宿大洋4階408号室にて発見されたもので、同日午後9時ごろ同所において室鬼死したものと認められる。

③ ④は凶破産場、①は北斎場にて火葬に付した。

# 久しぶり、雑談大会

「春一番が吹き、このまま春へ移るのかと思えば、突然の冷え込みにおそわれたり、と今年の冬は一体どうなっているんでしようか。年度末になり仕事はますますですが、今年の夏の水不足はほぼ確定したとの話も」

「いや、なかなかのモンやろ」

「へえー、管入れしてるとこやないか、こぬ、アンタが掘いたんか」

「鉛筆やけどな、テッサンや」

「新空港の工事に行った時の話や、題は日この人夫を見よ」

「釜の芸術家誕生やな」

「作品集を作りたいな、これもまだ完成したわけやないけど」

「こりや、楽しみやな、かんはってや」

「若い人はいろいろやわってええけど年とってたうふけて見えた方がええで」

「おもしろい話やけど、センターに登録してる人で一番の年寄りというのは明治四四年生れらしいで、たいしたもんや」

「そうしたら今年は七セブというわけかし」

「ワシは大正六年生まれや、なか」

「仕事はないもんやな」

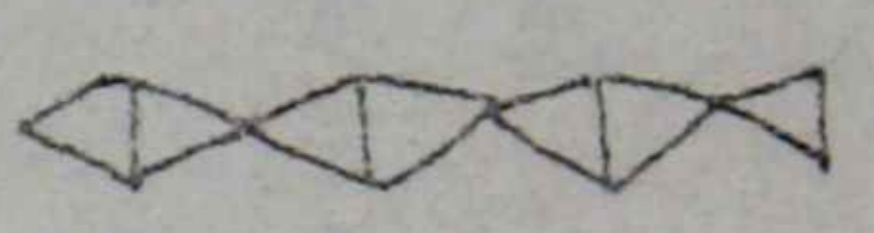
「昔は片付け仕事があったけど今はないのうな、たな」

「遺跡掘りやっただうあるのんと」

「な、やぬんで」

「ワシは昭和二年生まれやけど二の年のまちがいやろ、と言われてきつい仕事はっかりさせられてかなわんで」

「きいた話やけど、センターに登録してる人で一番の年寄りというのは明治四四年生れらしいで、たいしたもんや」



「ほうほうで発掘をやってるし今は人手不足やかつ、行ったっていくつも仕事はあるはずや、ちよつと準備は安いかいなし」

「五、六年前にワシも遺跡掘りに行ったことがある、若いからバンバン掘って行って失敗したわ、木がくさってスコがドンドン入る、そうすると土器なんかかパーになる、ホホホホがええんや、年寄り向きの仕事や」

「今まで生駒の道路工事専門の飯場におったけど掘り方とかはさついでしユンボの後始末もどうもいかんし」

「クルマの整理なんかどうや」

「あれもけっこう神経使うんや、はなうめることもあるし、命がけや」

「ちがうかし、専門の人夫出しません、ターに来てるで」

「バラブシもうまいことやらんと命がけやで、つり足場でも組んだ人はどうなってるか、わかってるけど、バラす方も年寄りがいる、どのバンセンから切ってる、たらええのか、むつかしい」

「図面読むのむつかしい、ちよつと自分でかいた図面やっただう読めるんやけど、他人のかけたんはなかなかやぬん」

「それはそうと、この前センターが二時間も足止めくったで」

「どうしたんや」

「職員の職員もな、ワシも音アッコしてた、こんなには連絡してアンコが働けるわけないとか文句つけよる、それに金庫屋が金借りてるのは空倉カードでわかるんやとか言ってるんや」

「そんなもんおかしいで」

「印があるとか、いつわけや」

「はあ、どう、いつわけや」